

沢渡駅待合施設が 木材利用優良施設コンクールに入賞しました

沢渡駅待合施設は、老朽化による旧沢渡駅舎の解体を受けて、伊那地域定住自立圏事業として設計・建築しました。伊那市が進める「伊那市 50 年の森林(もり)ビジョン」の一つとして、構造材及び内装材において 100% 地域材を使用しており、施設に入ると木のぬくもりを感じることができます。

構想の段階から地域の皆様と一体となって作り上げた施設であり、末永く地域に愛される沢渡駅を目指して整備しました。この度、令和3年度木材利用優良施設コンクールにおいて、優秀賞を受賞しました。



■「地域発のシンボリックデザイン」を地域材で表現

住民の皆様や高校生、地元企業がアイデアを出し合い、地域のシンボルを目指してデザインされました。

デザインのポイント: 外と内を飾る八角形のアクセント

▲森をイメージさせる、緑の八角屋根

▲どっしりと建物を支える八角柱

八角柱は、伝統の“まさかりはつり”技法によるもので、力強い独特の風合いが感じられます。(第35回全国削ろう会信州伊那大会の際に、地元観客の前で職人が製材)

1 コンクールの名称

令和3年度 木材利用優良施設コンクール

2 コンクールの趣旨

国内における木材利用の一層の推進を図るため、木材利用分野の拡大や特色ある施設を選定し、整備主体等(施主、設計者、施工者)を表彰する。

[主催: 木材利用推進中央協議会 http://www.jcatu.jp/commendation/13_list_detail.html?211013]

3 入賞内容

優秀賞

4 添付資料あり

本件に関するお問い合わせ先

沢渡駅周辺整備工事概要

経緯

- ・平成29年4月～ 定住自立圏事業として「伊那本線」運行開始、沢渡駅と結節
- ・平成29年6月～10月 沢渡駅周辺整備検討会における検討（5回）
- ・平成29年10月～ 旧駅舎、トイレ等の撤去及びスロープ等設置（東海旅客鉄道(株)）
- ・平成31年3月 沢渡駅周辺整備工事実施設計
- ・令和元年7月 安全祈願祭・起工式
- ・令和元年12月 施設の名称が「沢渡駅待合施設」に決定

施設概要

- ・当施設は、定住自立圏事業として建設が開始され、圏域内の交流促進と交通利便性の向上を目的に建設しています。
- ・地域産材を使用し、木質化を行っています。待合所中央の八角柱には、全国削ろう会信州伊那大会で製材されたイナマツが使用されています。
- ・待合所には八角形のデザインを採用し、開放的な室内空間と広い軒下スペースを確保するとともに、地域のシンボルとなる施設を目指しています。

（所在地） 伊那市西春近5198番地2

（構造階層） 木造 平屋建

（延床面積） 82.40平方メートル

設計・監理 清水設計事務所

施工者 西武建工株式会社

建物建築費 42,680千円

工事期間 自 令和元年7月 至 令和2年2月

